

## 第4章 企業による学業などに対する配慮の状況等

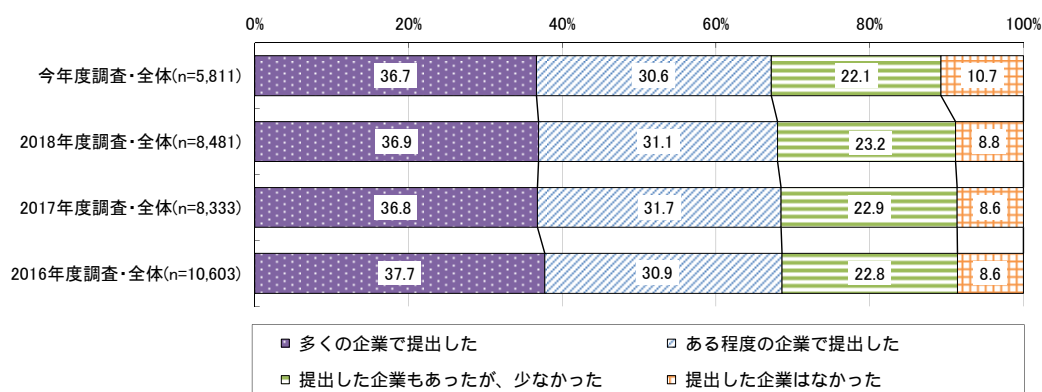
### (1) 履修履歴(成績証明書など)の提出の状況

#### 提出の状況

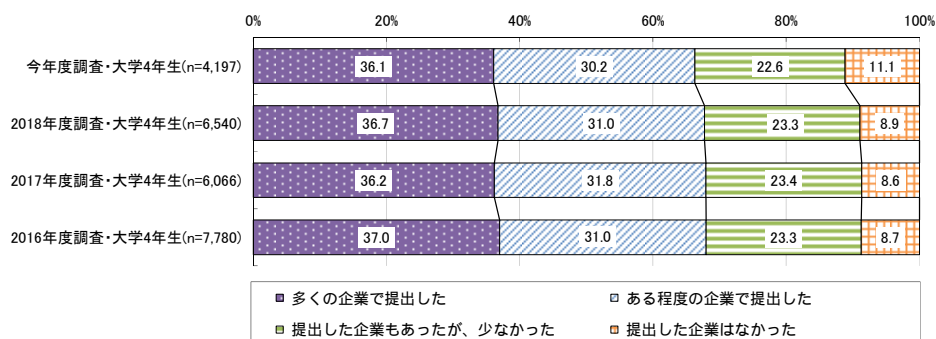
就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)の提出がどの程度求められたかについて、「多くの企業で提出した」の回答割合が約4割となっている。

これは、2016年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果である<sup>69</sup>。

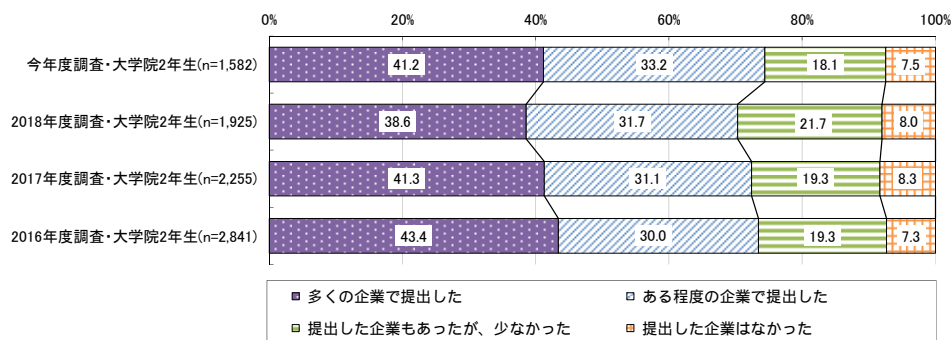
図表 4-1-1 履修履歴(成績証明書など)の提出の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



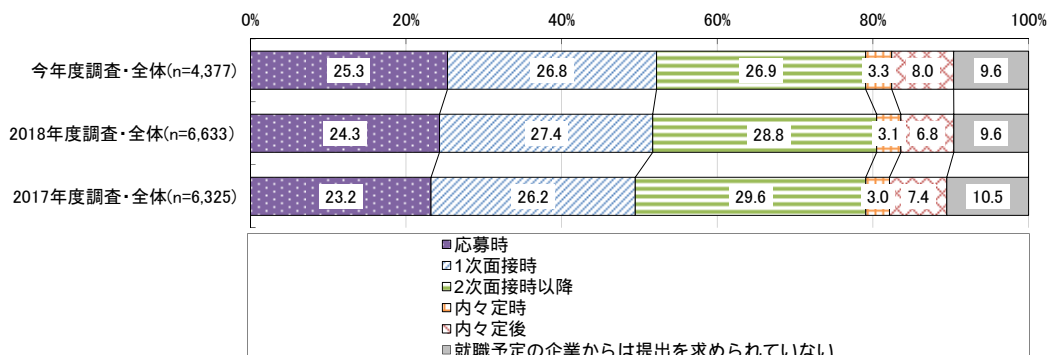
<sup>69</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## 提出のタイミング

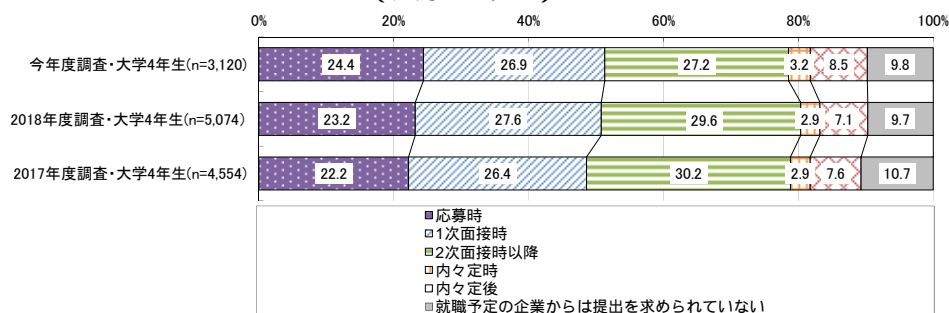
就職予定の企業から履修履歴（成績証明書など）の提出がいつ頃求められたかについて、「2次面接時以降」の回答割合が約3割と最も高く、次いで「1次面接時」の割合が高くなっている。

これは、2017年度調査・2018年度調査と概ね同様の結果である<sup>70</sup>。

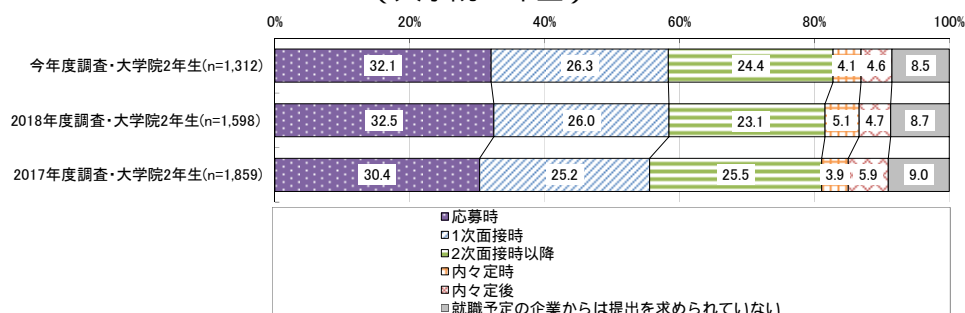
図表 4-1-2 就職予定の企業への履修履歴（成績証明書など）の提出のタイミング  
（大学4年生・大学院2年生）



### （大学4年生）



### （大学院2年生）



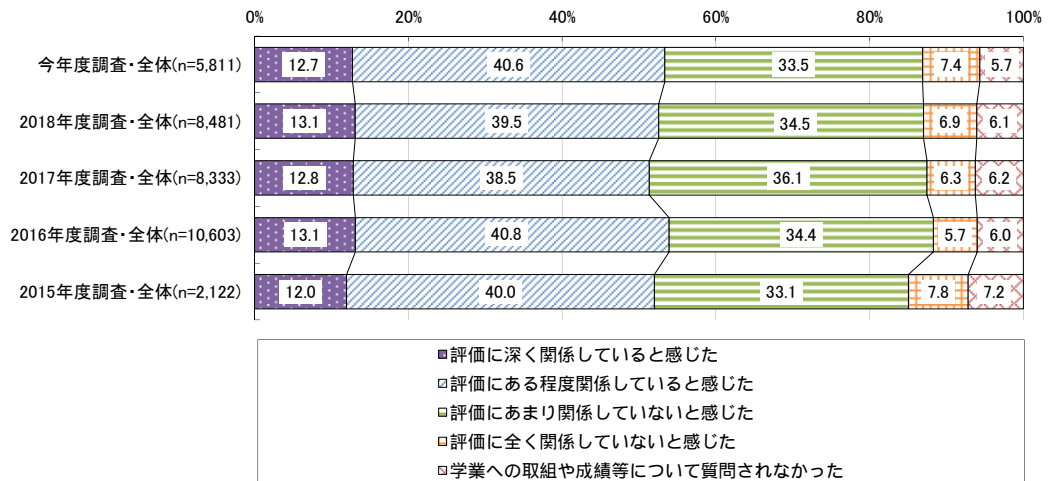
<sup>70</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

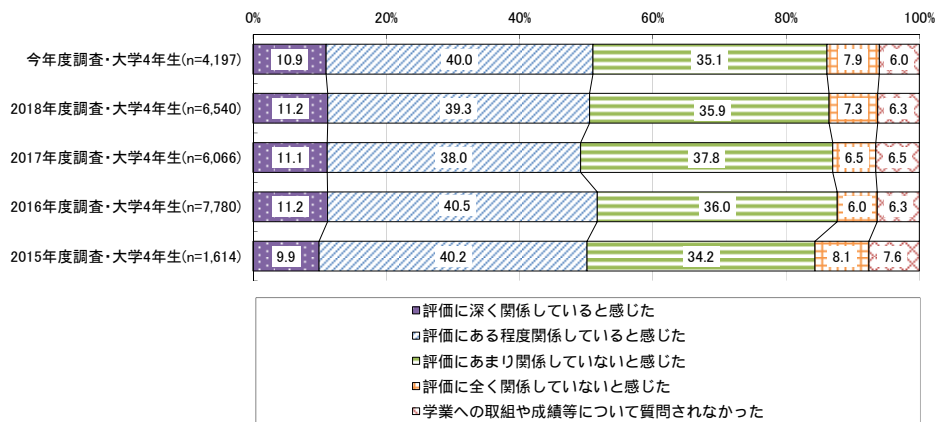
採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合が約5割となっている。

これは、2015年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果である。

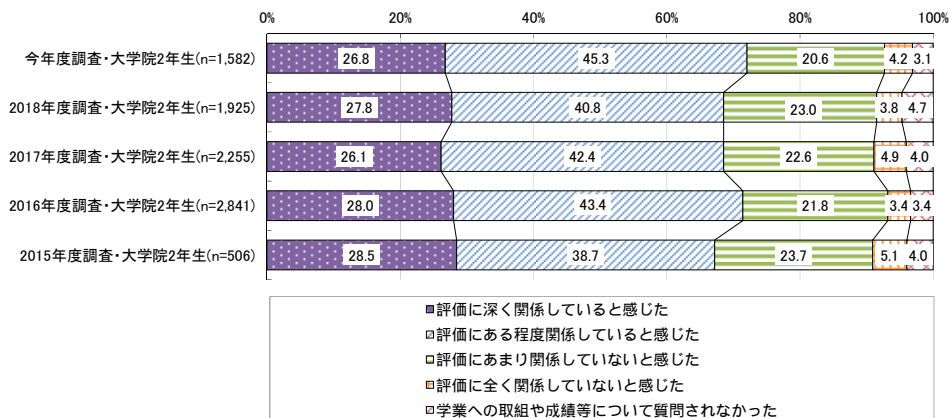
図表 4-2-1 採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



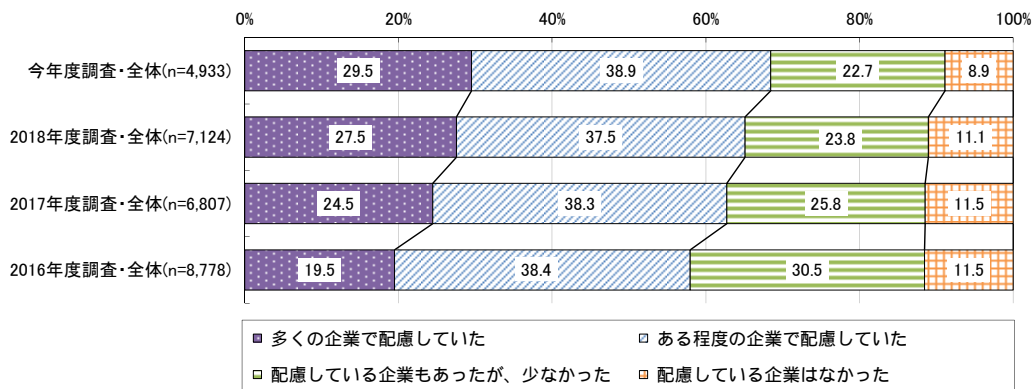
### (3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

#### 説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮

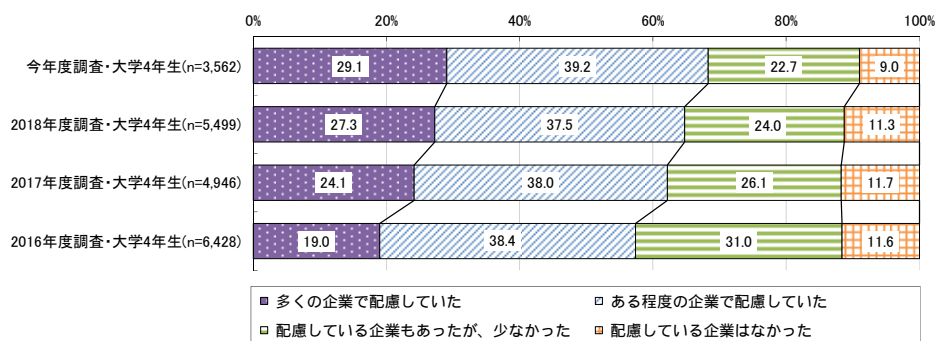
就職活動を行った企業において、「説明会や面接等の日程・時間帯等について配慮があったか」について、「よくわからない」との回答を除くと<sup>71</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は若干上昇している<sup>72</sup>。

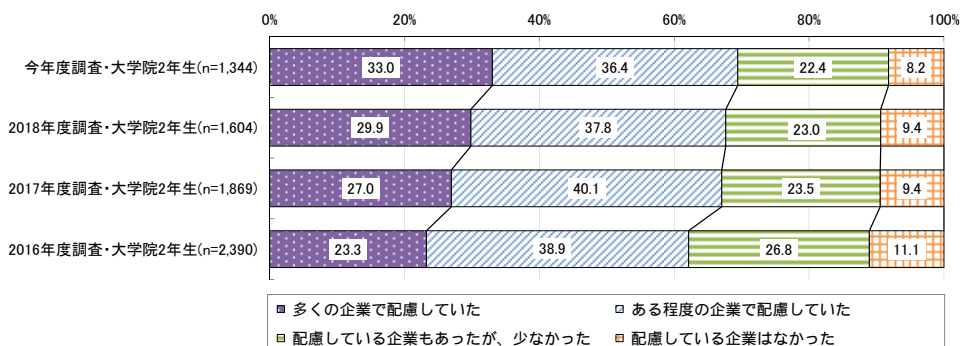
図表 4-3-1 説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



<sup>71</sup> 就職活動を行った企業について、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか」という設問への回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

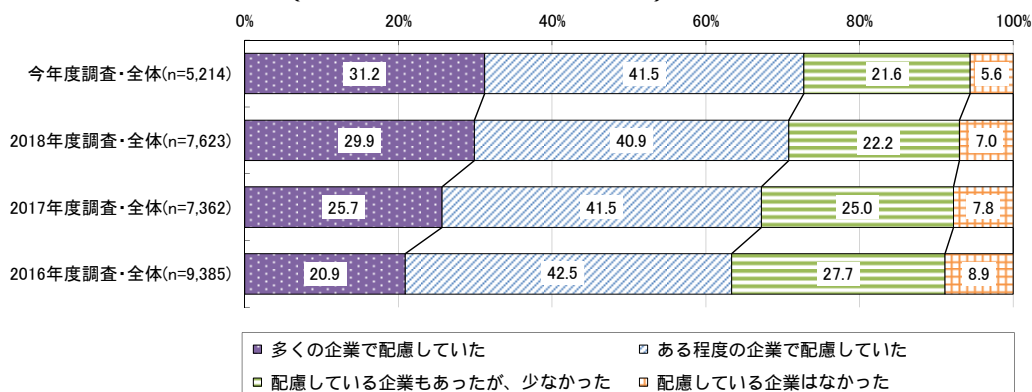
<sup>72</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## 個別の面接日時等の設定にあたっての配慮

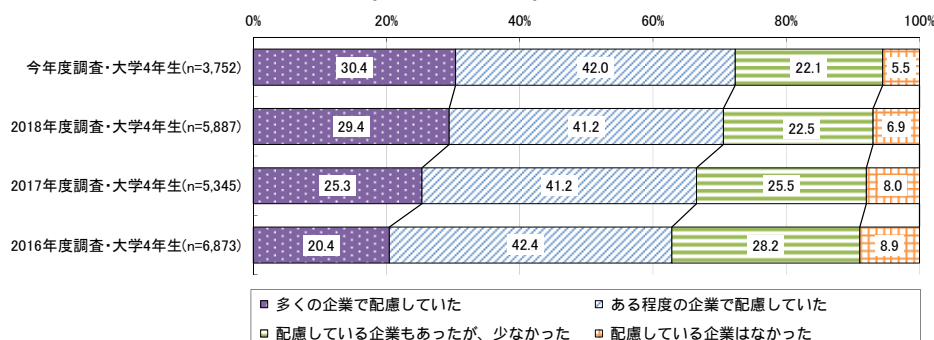
就職活動を行った企業において、「個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったか」について、「よくわからない」との回答を除くと<sup>73</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は若干上昇している<sup>74</sup>。

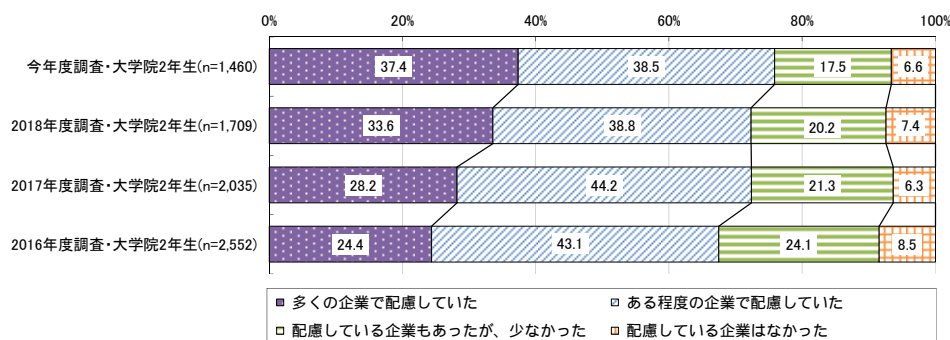
図表 4-3-2 個別の面接日時等の設定にあたっての配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>73</sup> 就職活動を行った企業について、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか」という設問への回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>74</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

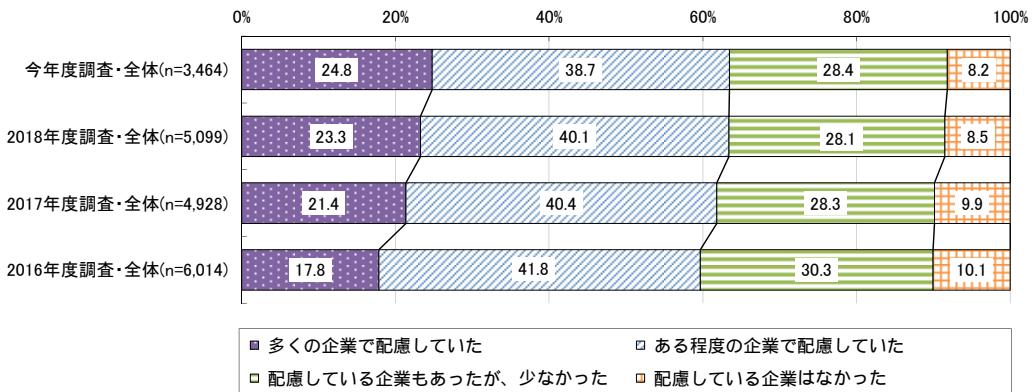
#### (4) 遠隔地への就職活動への配慮

地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと<sup>75</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約6割となっている。

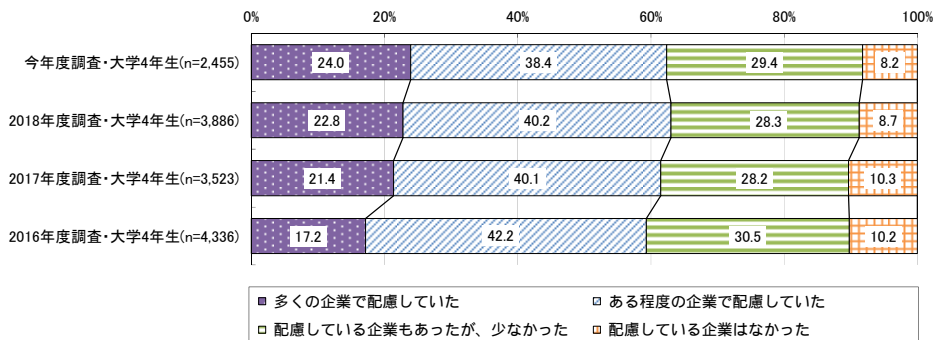
これは2018年度調査と概ね同様の結果である。

図表 4-4-1 遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況<sup>76</sup>

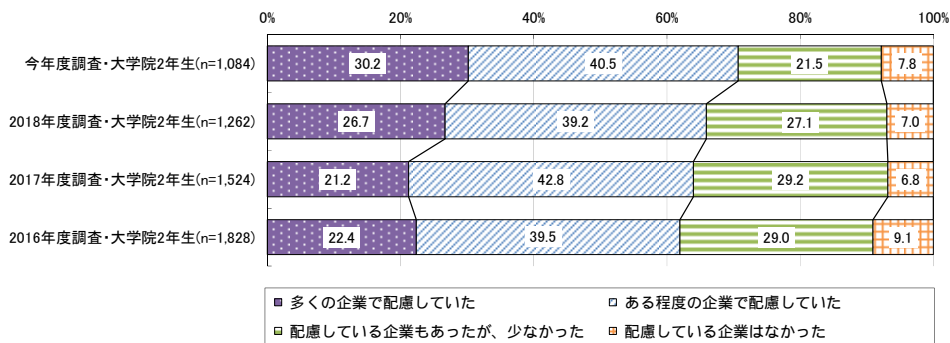
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>75</sup> 「地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか」という設問への回答で、「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

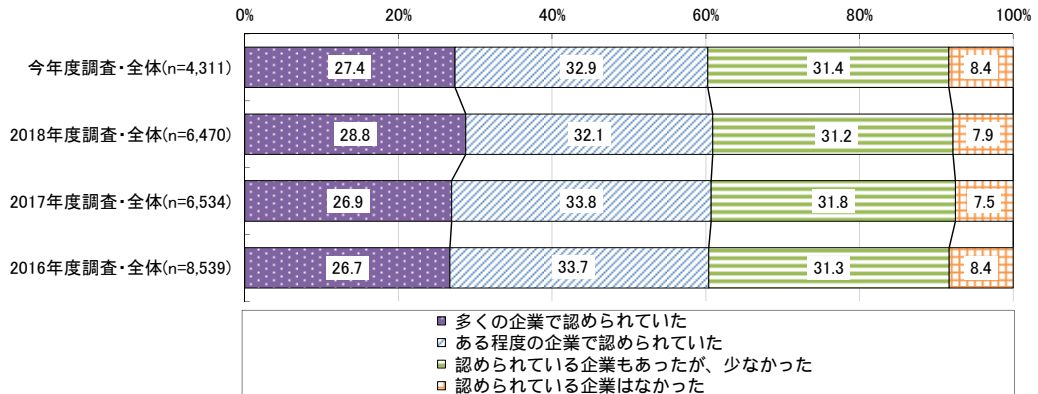
<sup>76</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (5) クールビズでの対応

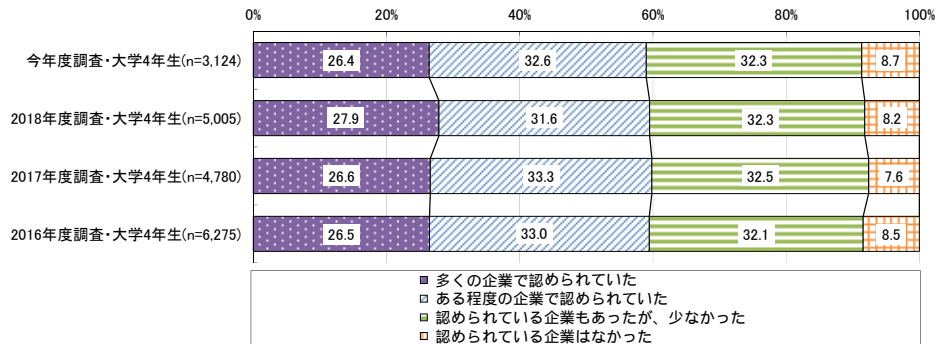
面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについて、「わからない」との回答を除くと<sup>77</sup>、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は約6割となっている。

これは、2016年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果である<sup>78</sup>。

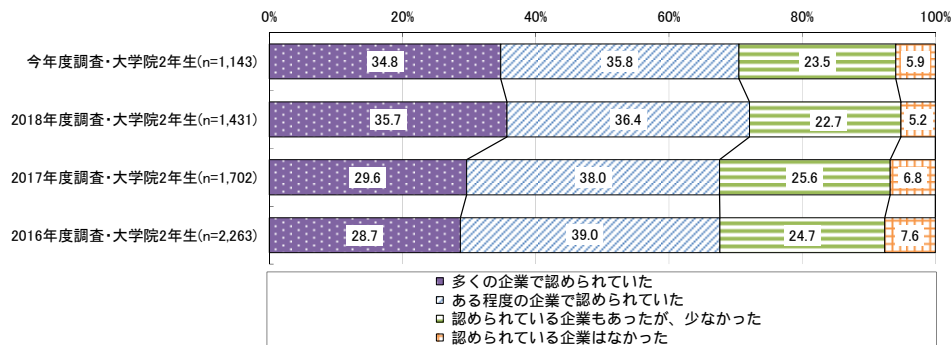
図表 4-5-1 面接の実施におけるクールビズでの対応の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>77</sup> 「面接の実施等にあたり、クールビズでの対応が認められていましたか」という設問への回答で、「暑い時期に就職活動を行っていない」「わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>78</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

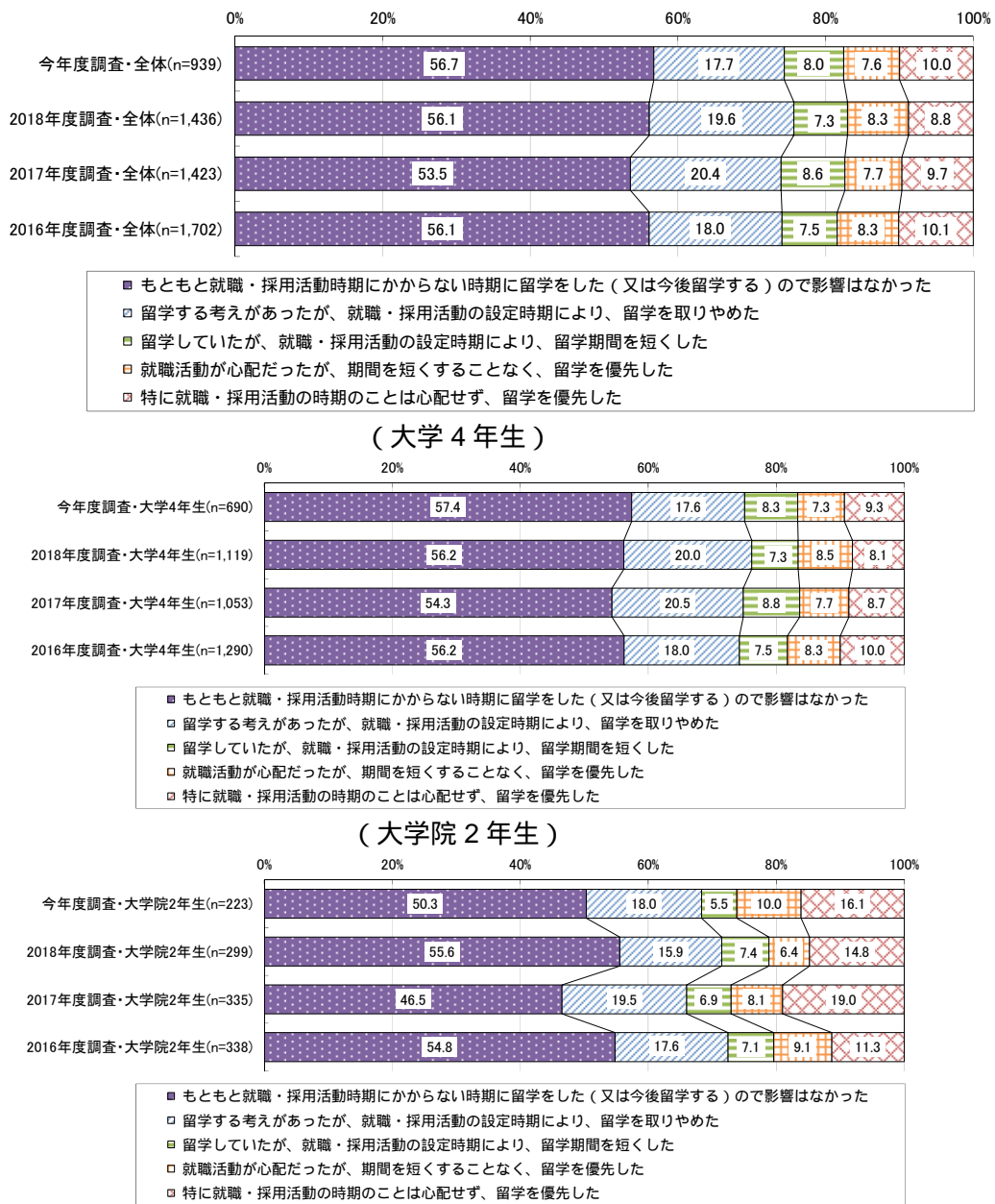
## (6) 留学経験者等への配慮

### 留学経験者及び留学を検討していた者の状況

就職・採用活動の設定時期により留学の予定等に影響があったかについて、留学経験者及び留学を検討していた者のうち<sup>79</sup>、約6割が「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした（又は今後留学する）ので影響はなかった」と回答している。一方、約2割は「留学する考えがあったが、就職・採用活動の設定時期により、留学を取りやめた」と回答している。

これは、2016年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果である<sup>80</sup>。

図表 4-6-1 留学経験者及び留学を検討していた者の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>79</sup> 「就職・採用活動の設定時期（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）により、留学の予定等に影響はありましたか」という設問への回答で、「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答した者を除いて集計した。

<sup>80</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

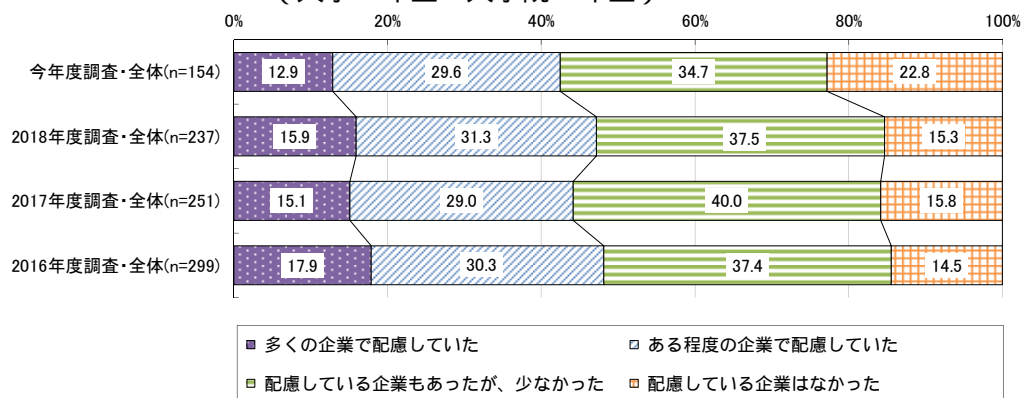


## 企業側から留学経験者に対する配慮の状況

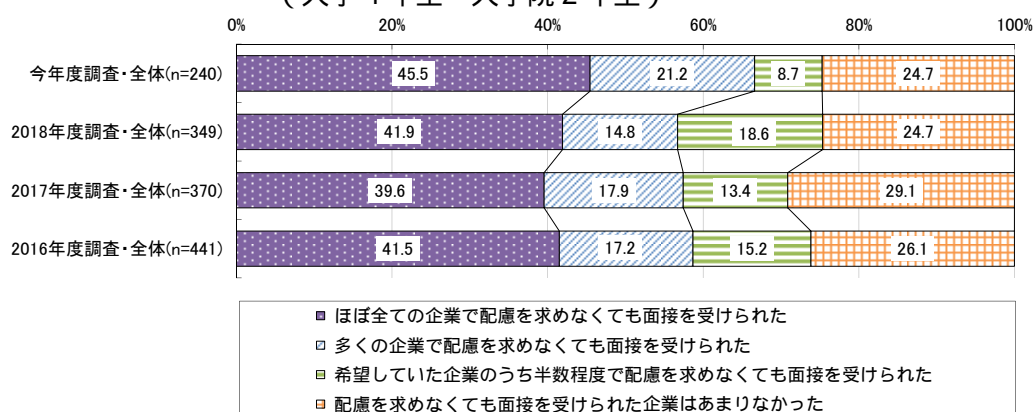
就職・採用活動期間中に留学を実際に行っていた者<sup>81</sup>に対して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかについて、「わからない」との回答を除くと<sup>82</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合が約4割となっている<sup>83</sup>。2016年度調査～2018年度調査と比較すると、これらの割合は今年度調査では若干低下している。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、又は留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」との回答割合が約5割となっているが、「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」との回答割合も比較的高くなっている。なお、この「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」との回答割合は、2016年度調査～2018年度調査と概ね同様の結果となっている。

図表 4-6-2 留学経験者に対する企業側の配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



図表 4-6-3 留学経験者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>81</sup> 「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する各設問について、2015年度調査では実施していない。

<sup>82</sup> 「あなたが就職を希望した企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか」という設問への回答で、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>83</sup> 留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

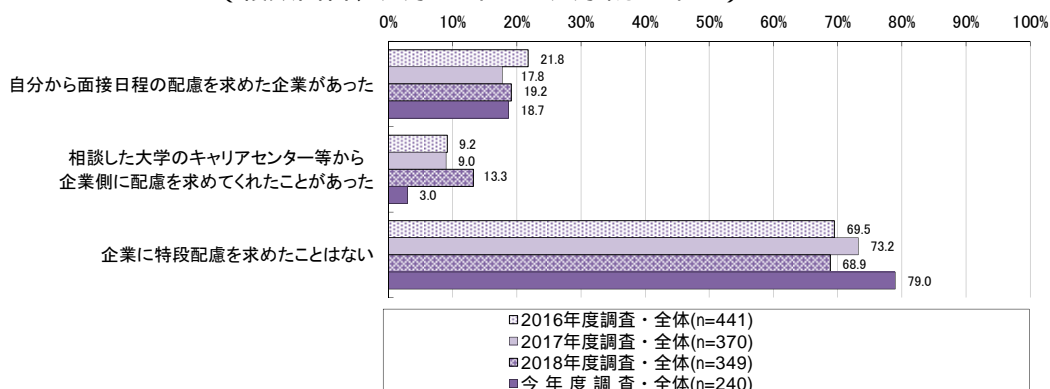
## 留学経験者が企業側へ配慮を求めた際の対応等

留学と採用選考の時期が重なることで、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約 2 割、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」との回答が 1 割未満となっている<sup>84</sup>。

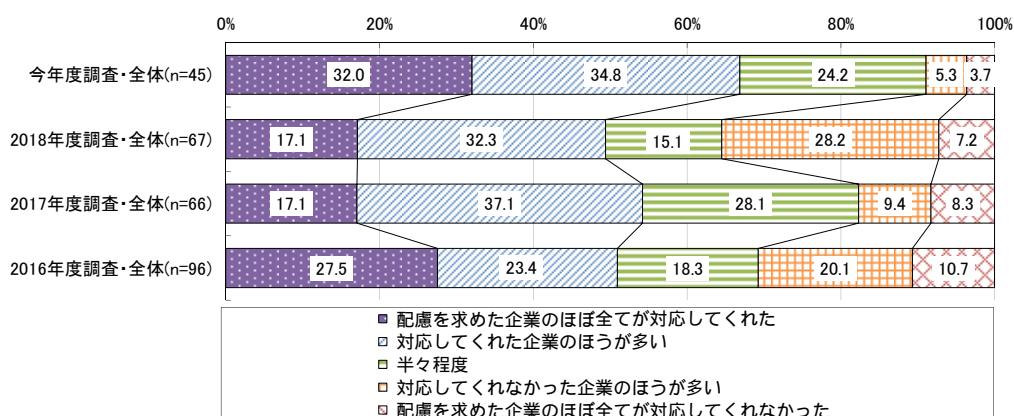
自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況について<sup>85</sup>、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」と「対応してくれた企業のほうが多い」を合わせた回答割合は約 7 割となっている。2016 年度調査～2018 年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が若干上昇している。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」と「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」を合わせた回答割合が約 2 割となっている。

図表 4-6-4 留学経験者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか  
(複数回答、大学 4 年生・大学院 2 年生)



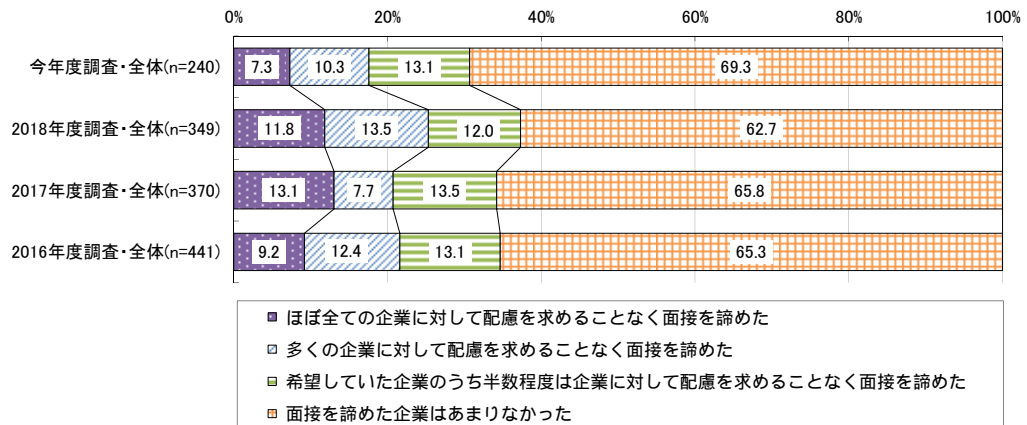
図表 4-6-5 留学経験者が配慮を求めた場合の企業の対応 (自分から配慮を求めた場合)  
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



<sup>84</sup> 留学経験者に関する各設問について、「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する設問について、2015 年度調査では実施していない。

<sup>85</sup> 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の件数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。

図表 4-6-6 留学経験者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



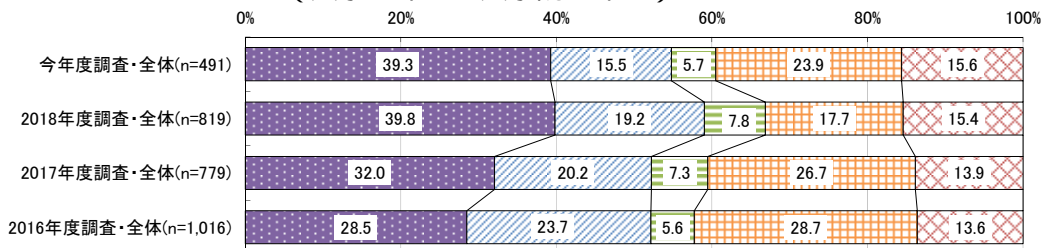
## (7) 教育実習受講者への配慮

### 教育実習受講者及び教育実習受講を検討していた者の状況

就職・採用活動の設定時期により教育実習の予定等に影響があったかについて、教育実習受講者及び教育実習受講を検討していた者のうち<sup>86</sup>、「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」との回答割合が約4割となっている。他方、約2割が「教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた」と回答している。

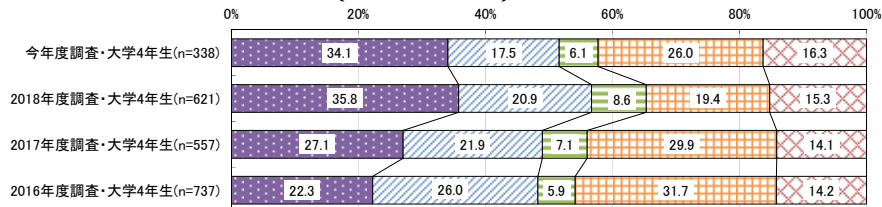
今年度調査の「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」との回答割合は、2018年度調査と概ね同様の結果となっている<sup>87</sup>。

図表 4-7-1 教育実習受講者及び教育実習受講を検討していた者の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



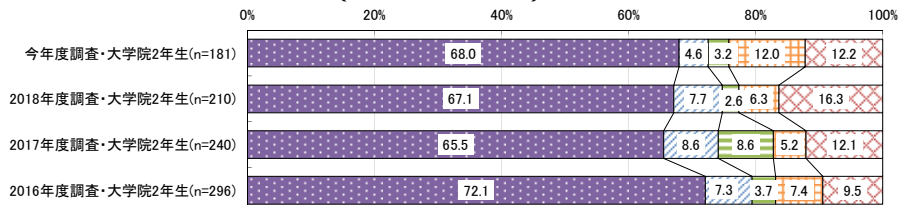
- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた
- ▨教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を延期した
- ▧就職活動が心配だったが、教育実習を優先した
- ▩特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した

#### (大学4年生)



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた
- ▨教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を延期した
- ▧就職活動が心配だったが、教育実習を優先した
- ▩特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した

#### (大学院2年生)



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた
- ▨教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を延期した
- ▧就職活動が心配だったが、教育実習を優先した
- ▩特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した

<sup>86</sup> 「就職・採用活動の設定時期（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）により、4年生または大学院2年生の前期における教育実習の予定等に影響はありましたか」との設問への回答で、「もともと教育実習を考えておらず、教育実習を受けていない」と回答した者は除いて集計した。

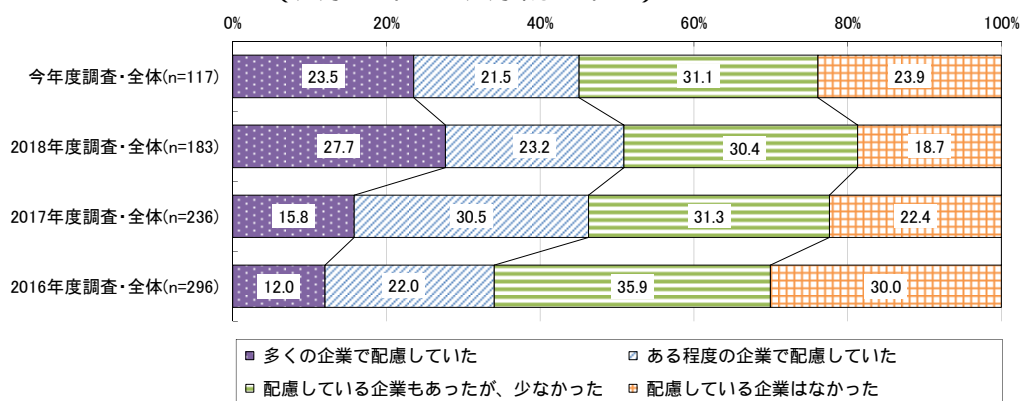
<sup>87</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## 企業側から教育実習受講者への配慮の状況

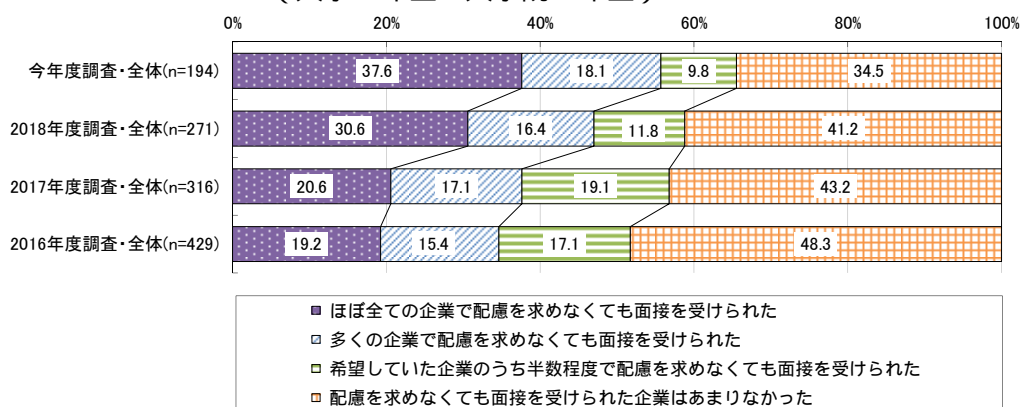
就職・採用活動期間中に実際に教育実習を受けていた者<sup>88</sup>に対して、就職を希望した企業において、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮があったかについて、「わからない」との回答を除くと<sup>89</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」とを合わせた回答割合が約 5 割となっている<sup>90</sup>。2018 年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が若干低下している。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が教育実習と重なっていなかった、又は教育実習受講者等のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」との回答が約 4 割となっている。2016 年度調査～2018 年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が上昇している。

図表 4-7-2 教育実習受講者に対する企業側の配慮の状況  
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



図表 4-7-3 教育実習受講者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況  
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



<sup>88</sup> 「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答した者について集計した。なお、教育実習受講者に関する各設問について、2015 年度調査では実施していない。

<sup>89</sup> 「あなたが就職を希望した企業は、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮していましたか」という設問への回答で、「教育実習期間中に就職活動を行っていないため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>90</sup> 教育実習受講者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学 4 年生・大学院 2 年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

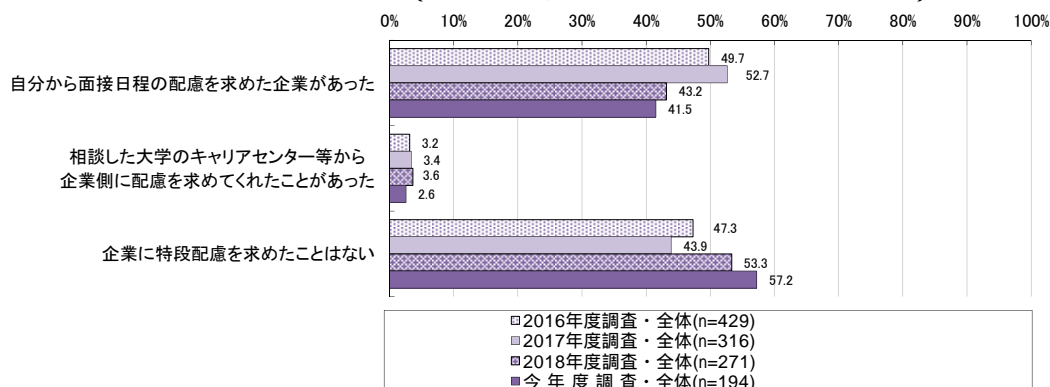
## 教育実習受講者が企業側へ配慮を求めた際の対応等

教育実習と採用選考の時期が重なることで、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約4割となっている<sup>91</sup>。

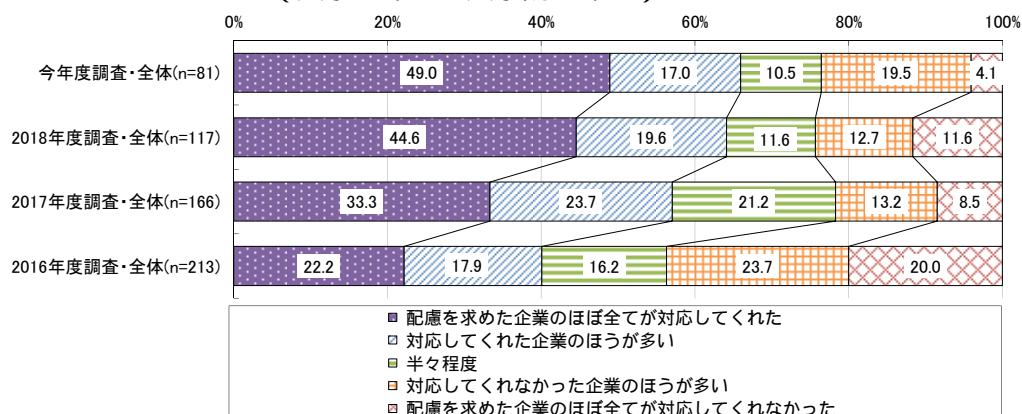
自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況についてたずねたところ<sup>92</sup>、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」と「対応してくれた企業のほうが多い」を合わせた回答割合は約7割となっている。2016年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が若干上昇している。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることはせず、結果として教育実習と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」と「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」を合わせた回答割合が約2割となっている。2018年度調査と比較すると、今年度調査はこの割合が若干上昇している。

図表 4-7-4 教育実習受講者が就職を希望した企業に対して面接日程について  
配慮を求めたことがあったか（複数回答、大学4年生・大学院2年生）



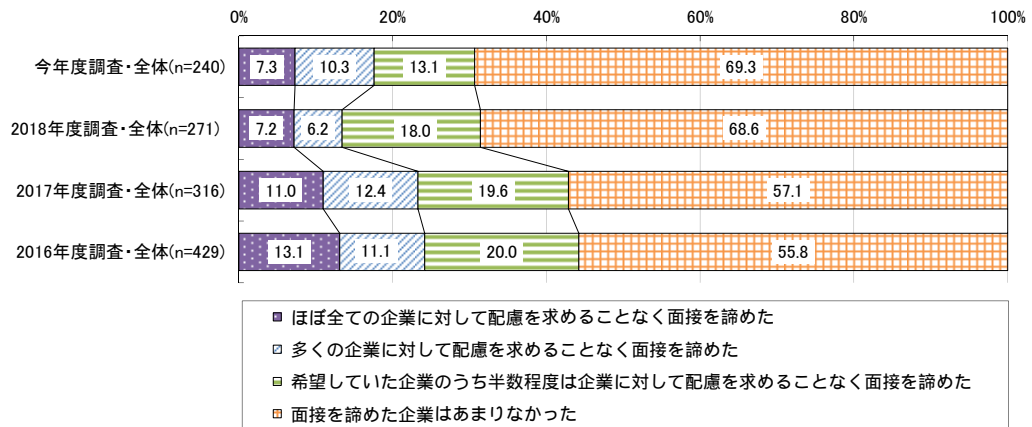
図表 4-7-5 教育実習受講者が配慮を求めた場合の企業の対応（自分から配慮を求めた場合）  
（大学4年生・大学院2年生）



<sup>91</sup> 教育実習受講者に関する各設問について、「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答した者について集計した。なお、教育実習受講者に関する各設問について、2015年度調査では実施していない。

<sup>92</sup> 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の件数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。

図表 4-7-6 教育実習受講者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



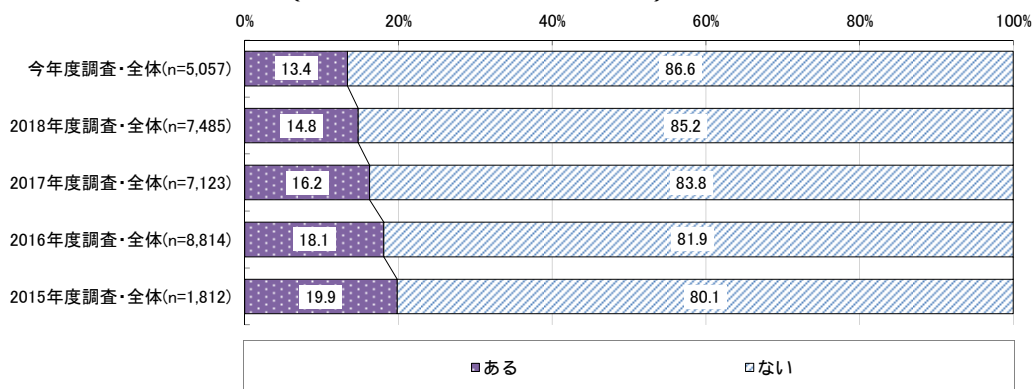
## (8)「オワハラ」の状況

### 「オワハラ」の有無

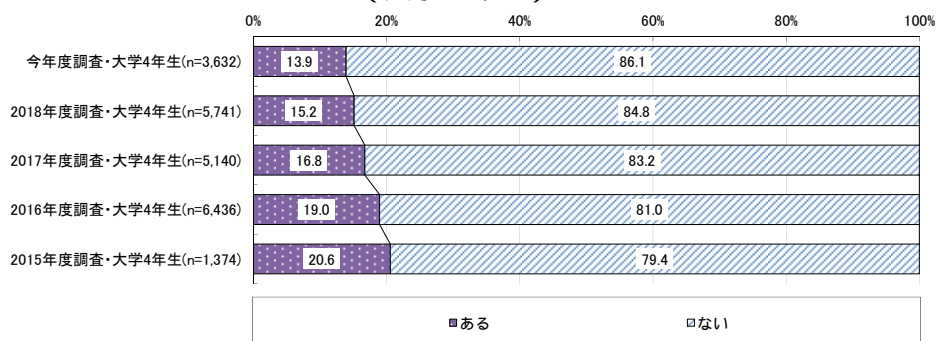
企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するハラスメント的な行為（いわゆる「オワハラ」）を受けたことがあるかについて<sup>93</sup>、約1割の者が「ある」と回答している。

2015年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では「ある」の回答割合が若干低下している。

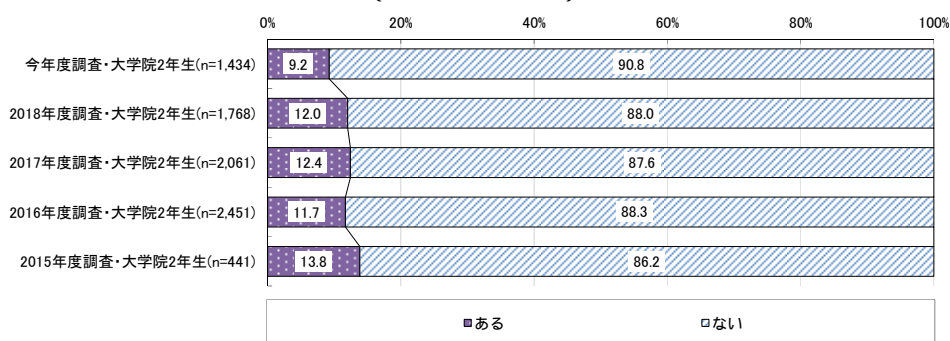
図表 4-8-1 企業から「オワハラ」を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



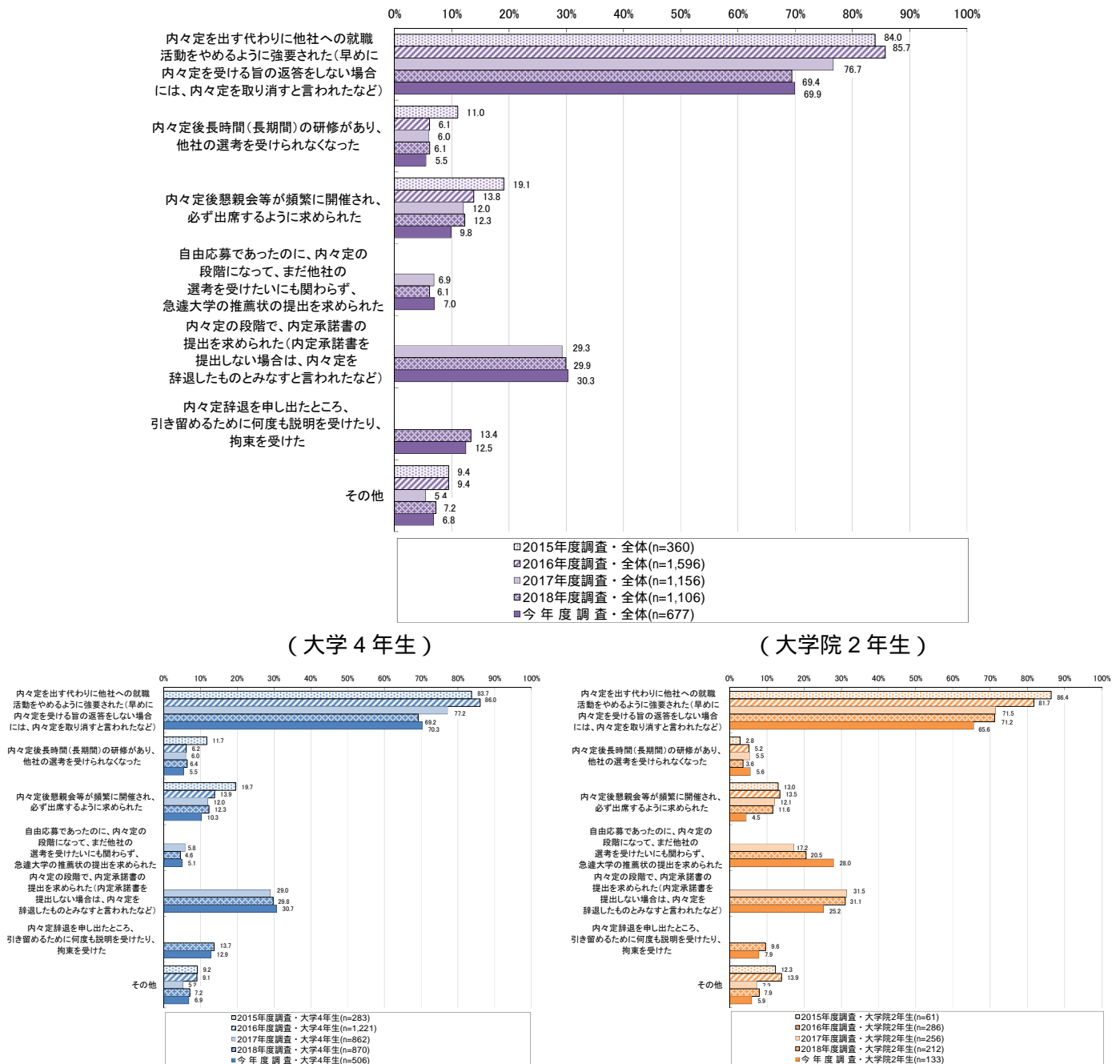
<sup>93</sup> 内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。



## 「オワハラ」の内容

企業等からの「オワハラ」で、どのような行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）<sup>94</sup>」との回答割合が約7割となっている。次いで、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」との回答割合が約3割となっている。

図表 4-8-2 「オワハラ」の内容（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



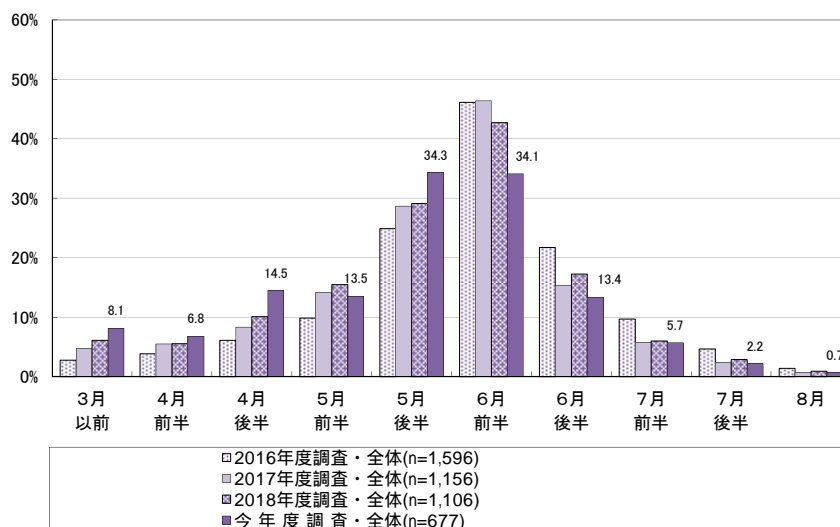
94 2015年度調査～2018年度調査では「早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど」の例示はせず単に「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」の項目で調査を実施している。

## 「オワハラ」があった時期

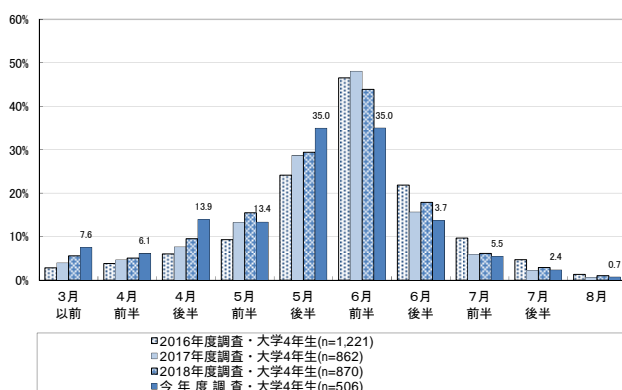
「オワハラ」を受けた時期について、「5月後半」と「6月前半」の回答割合がそれぞれ約3割となっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、今年度調査では「5月後半」の回答割合が上昇し、「6月前半」の回答割合が低下している。また、「4月後半」など、より早期の回答割合も若干上昇している<sup>95</sup>。

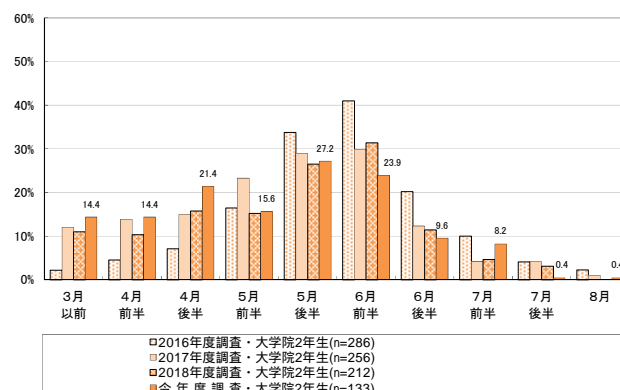
図表 4-8-3 「オワハラ」を受けた時期（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



### （大学4年生）



### （大学院2年生）



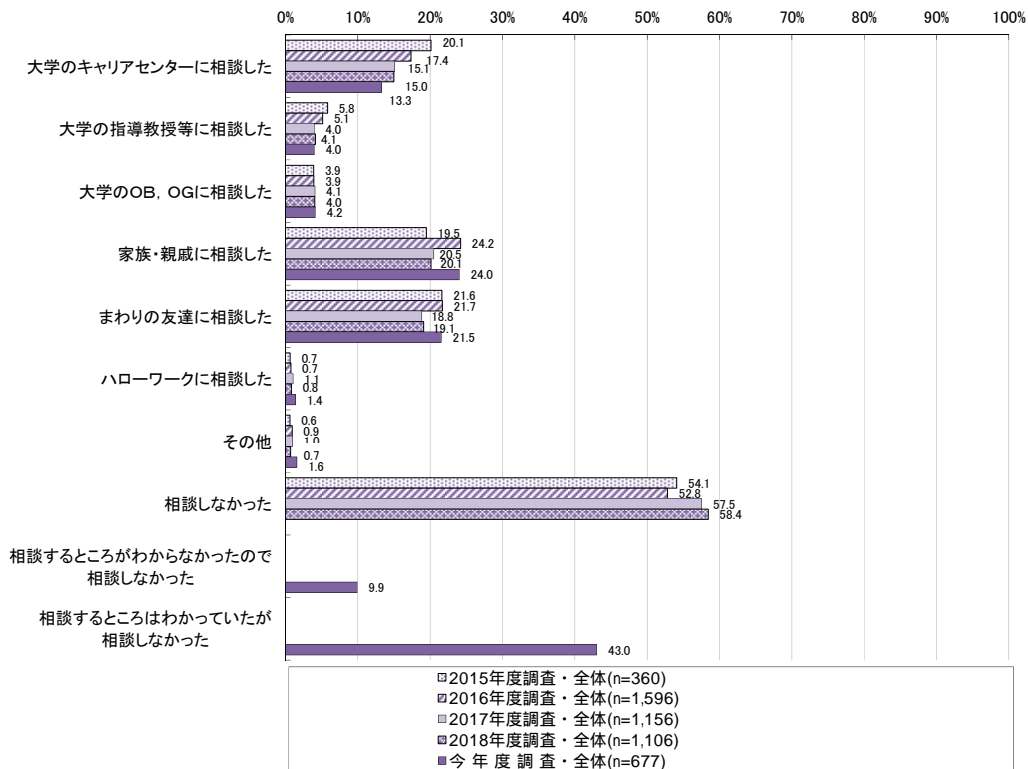
<sup>95</sup> 2015年度調査でもハラスメント的な行為を受けた時期に関する設問の調査をしているが、選択肢として設定している時期が他の年度の調査とは異なることから、ここでは比較の対象としなかった。

## 「オワハラ」への対応

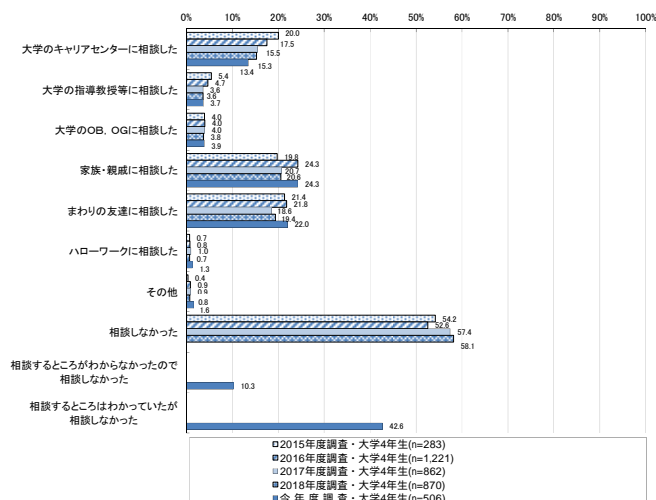
「オワハラ」を受けた際の対応について、「家族・親戚に相談した」と「まわりの友達に相談した」との回答がそれぞれ約 2 割となっている。これは、2015 年度調査～2018 年度調査と概ね同様の結果である。

なお、「相談しなかった」との回答については、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が全体の約 1 割、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約 4 割となっている<sup>96</sup>。

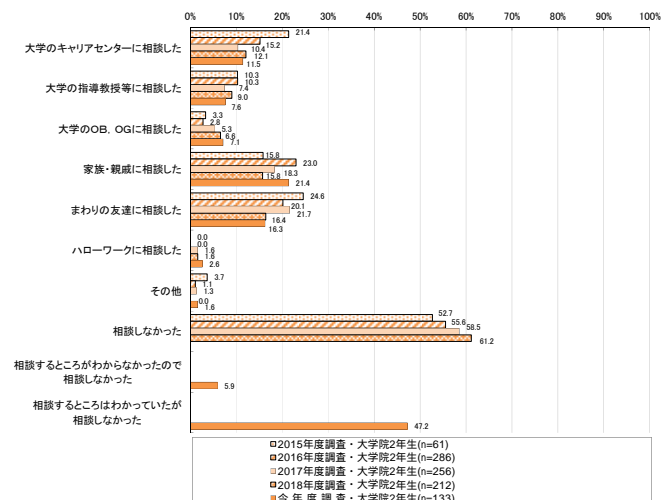
図表 4-8-4 「オワハラ」を受けた際の対応（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）



（大学 4 年生）



（大学院 2 年生）



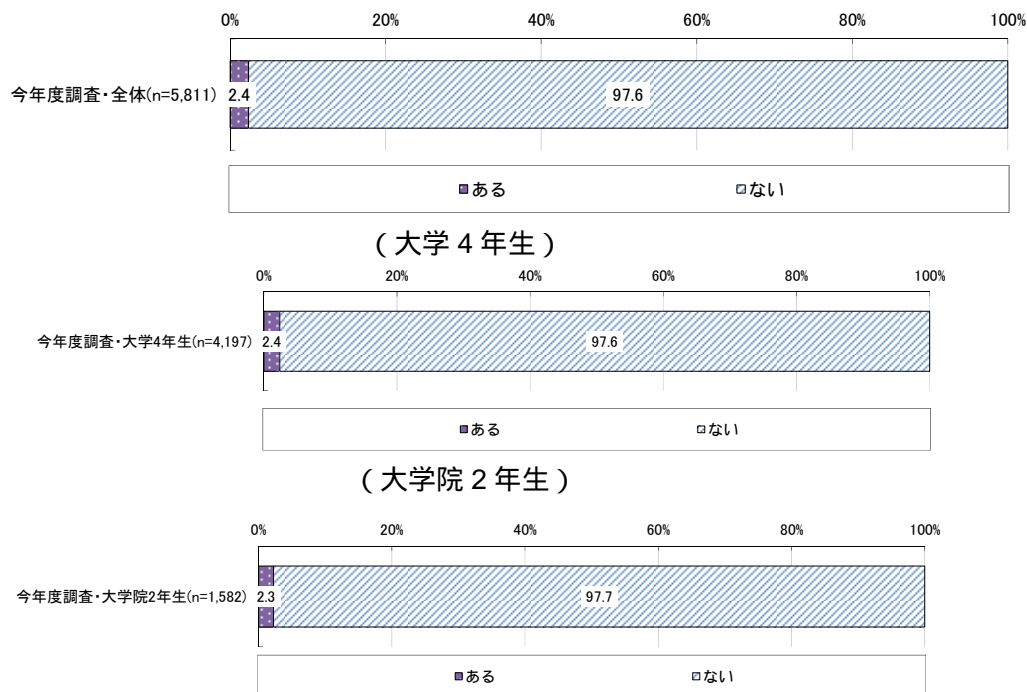
<sup>96</sup> 2015 年度調査～2018 年度調査では単に「相談しなかった」という項目で調査していたものを、今年度調査ではその理由も含めた形で選択肢を変更して調査を行った。

## (9) セクシュアルハラスメントの状況

### セクシュアルハラスメント行為の有無

就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は約2%であった<sup>97</sup>。

図表 4-9-1 セクシュアルハラスメント行為を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)

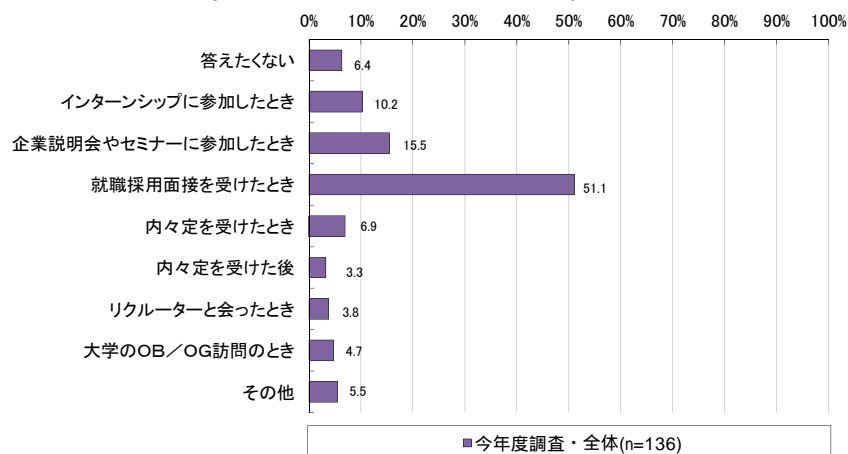


<sup>97</sup> 2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査を実施していない。(以降のセクシュアルハラスメント行為に関する各設問についても同様)

## セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング

セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミングとしては<sup>98</sup>、「就職採用面接を受けたとき」の回答が約 5 割、「企業説明会やセミナーに参加したとき」が約 2 割となっている。

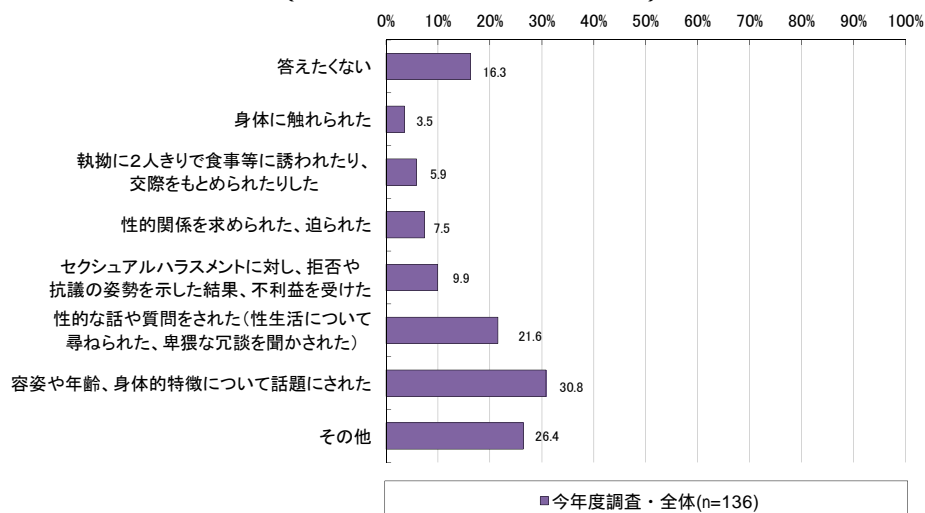
図表 4-9-2 セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）



## セクシュアルハラスメント行為の内容

どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けたかについて、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」が約 3 割、「性的な話や質問をされた（性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた）」が約 2 割となっている。また、「その他」の回答も約 3 割となっている。

図表 4-9-3 セクシュアルハラスメント行為の内容（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）

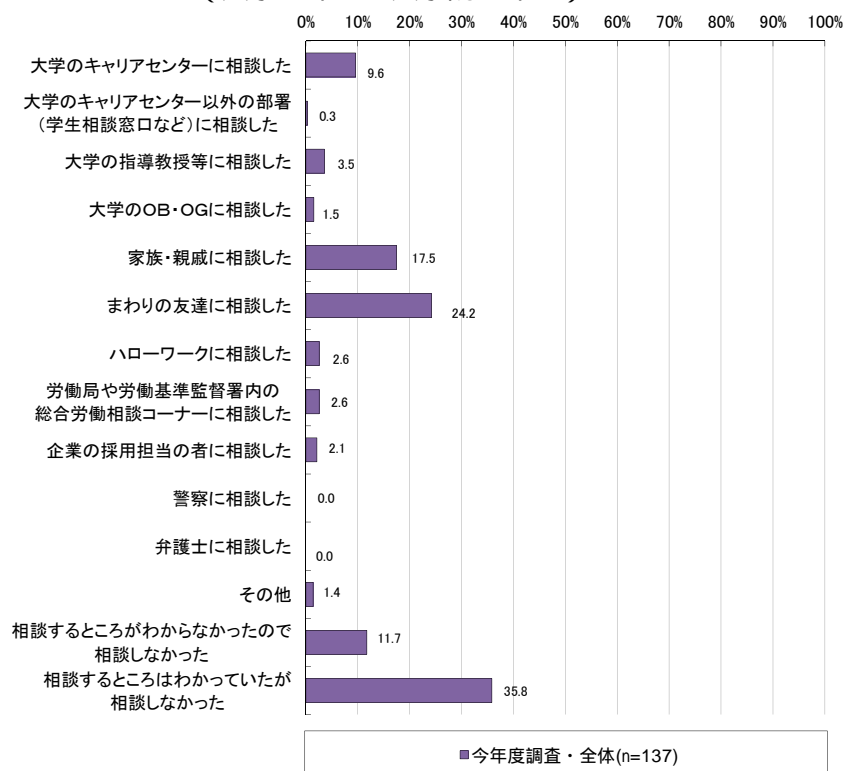


<sup>98</sup> 以降の設定に関しては、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象とした。「答えたくない」との選択肢も設けた上で、差し支えない範囲で回答していただいた（当該調査項目に回答しなくても調査終了とすることを可能とした）。なお、回答数が多くないことから、大学 4 年生・大学院 2 年生を合わせて集計した結果のみ掲載した。

## セクシュアルハラスメント行為に関する相談

セクシュアルハラスメント行為に関し相談したことがあるかについて、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約 4 割、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が約 1 割となっている。相談先としては、「まわりの友達に相談した」と「家族・親戚に相談した」がそれぞれ約 2 割となっている。

図表 4-9-4 セクシュアルハラスメント行為に関する相談（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）



## セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応

セクシュアルハラスメント行為を相談した際の対応について、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」が約 6 割、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」が約 4 割となっている。

図表 4-9-5 セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）

